



特集

- 水戸こどもの劇場の
子ども、子育て支援と研修・・・2～3
横須賀 聡子
- シリーズ 内向タイプという生き方・・・4
名前というもの
公立高校教諭 森 俊博
- 中立を教える・・・5
茨城大学大学院 金丸 隆太
- ココロノアリカ vol.13・・・6
難儀なカラダ
水戸南高等学校定時制同窓会会長 宮田 哲郎
- 赤ちゃんとママの出前事業・・・7
活動紹介&参加者アンケート

- 障がい児を育てる親の会・・・8
「Greco」クレコ
- Entertainment・・・9
書評 佐藤 元基
カイロプラクター真家先生のカイロコーナー
- 水戸こどもの劇場より・・・10
広告 毎月の活動紹介
- その他のお知らせ・・・11～12
広告 編集後記

発行：認定NPO法人 水戸こどもの劇場
〒310-0912 茨城県水戸市見川2-82-11
TEL/FAX 029-255-0908
E-mail gekijo310@citrus.ocn.ne.jp
URL <http://www.mito-kodomo.jp/>



水戸こどもの劇場の子ども、子育て支援と研修

横須賀 聡子

水戸こどもの劇場は発足以来、子どもも大人も今を生きる対等な存在として、子どものいる社会において何が大切かをともに追及し、それを支えるための活動を紡ぎだしてきました。初期は、大学教員や学生、教員、親たちなど意識の高い人々が先駆的な取り組みとして試行錯誤しながら運営してきたと思われます。その後、運営の中心は親たちに移り、たくさんの仲間を巻き込みながら、舞台鑑賞やキャンプ、フェスティバルなど、我が子やその友だちのための事業を定期的に開催する自助的活動の繁栄の時期を経て、1999年のNPO法の成立に伴い、NPO法人となり、現在では認定NPOとして共助、公助的な事業を広く地域社会に向けて展開しています。

私たちにとって、1999年のNPO法人化は大きな選択でした。それまで自助的な活動（会員が会員に向けて事業を行う、あるいは会員を優先した活動をつくる）を主としてきた団体が、共助、公助的な事業（会員が地域社会に向けた事業を行う、あるいは地域社会を巻き込んで事業をつくる）に舵を切るといふ飛躍であり、そこは、誰もが利用できるサービスとして子育てサロンを開設した時期とも重なっています。これらによって私たちに社会的責任を実感することとなりました。

開設した子育てサロンは、それまでの実践で培った経験的知識により、当初からノンプログラムを選択しましたが、当然、会員以外の利用もあり、多様な人たちをプログラムの無い状態で受け入れることは容易ではなく、そこに集う人たちは、当然のごとく私たちに支援を求めましたし、スタッフの期待も大きく専門性への問いが始まりました。

子ども支援に関しては、法人化以前から、子どもの創造性を伸ばすこと、社会への帰属意識につ

ながるような本当の意味で参画を促すこと、を実現させるために、支援者として伴走する大人の役割とその専門性への追及が起こり、少しずつではありましたが、かかわる大人に向けての研修会が開催され、他団体との協働も始まっていました。

私たち水戸こどもの劇場の提供する子ども、子育て支援は、自立支援であることを基本としています。支援を受ける側が、被支援者、利用者としてのみ存在するのではなく、必要なときに必要な支援を求めつつ、常に主体であること、支援を創り出す側として存在することを目標としています。それは支援者、被支援者を分断し、プログラム化してサービスを提供し続けるあり方とは違い、常にコミュニケーションを取りながら、一つひとつオーダーメイドで課題を共有し、利用者とともに支援を創りだし、ともに育ちあう場を作っていくとするものです。それを実現するためには、人への基本的信頼であったり、自己や他者の尊厳を尊重する人権意識であったり、人と人をつなぐ技術であったり、社会資源の知識や理解、それらとのネットワークであったり、初めての人を優しく迎え入れ、かかわる人に安心感を与える態度であったり、様々な知識や技術、スキルを必要とします。それに気づかされたときから、対人援助にかかわる専門性の開発が私たちの明確な課題となりました。実践を省察し、起きている問題を整理して、その解決に向けての学びを創りだし、かかわる人たちを巻き込みつつ解決に向かっていく必要が生まれ、多様な研修への取り組みが始まりました。

その一つが、子育て支援における支援者のコンピテンシーについての学びでした。私たちの団体における子育て支援の目的を共有し、その目的に向かっていくために必要な知識、スキル、態度な

どを子育て支援者のコンピテンシー研究に学び、コンピテンシー項目ごとに自分の実践を振り返り、他者から見えている自分との比較を行いながら、自ら目標の設定を行うなどして、個人の成長を大切にしながら、グループ全体のスキルアップを図りました。また、CAPプログラムの提供にあたっては、グループを立ち上げ、CAPのライセンス取得のための養成講座を茨城県内に誘致するとともに、プログラム実践に必要な傾聴やファシリテーションなどのスキルを学ぶ講座や発達障害の理解、対応、さらには性教育のファシリテーター養成講座まで開催し、事業実践に必要とされる資質と能力を向上させるための研修を企画、運営してきました。

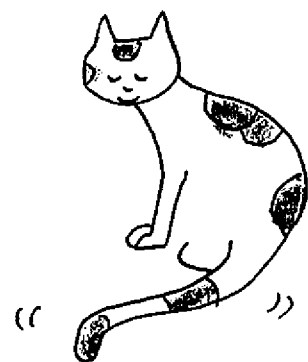
近年では、行政などからの子ども、子育て支援に関する事業の受託も増え、さらに高い専門性の開発が求められる状況にあります。例えば、放課後子ども教室では、その事業の成り立ちを学び、目的を理解することから始めて、私たち水戸こどもの劇場がその事業を受託する意味、私たちが取り組むことの価値をかかわるスタッフ全員で検討し、一年間の目標をつくることを年初の研修とし、毎月のスタッフ会議で日々の実践を省察して、目標を確認しながら、ひとつ一つの対応を検討しています。そして、実践の中に現れた課題をテーマに必要に応じて研究者等と連携しながら次なる研修を企画するという学びのサイクルが出来上がりつつあります。それは、学び続ける組織というあり方であり、今のところ、理論と実践が有機的につながる理想的なかたちであると思われま

しかし、様々な研修を行ってきた私たちですが、それでも学ぶことを止めてしまうのは簡単です。現場が忙しいから、慣れたスタッフだから問題がない、今更面倒だ、それほどたくさんの賃金を得ていない、などなど研修をしないこと理由はいくらかでも挙げられます。日々の実践を振り返る目が曇れば、課題は見えなくなりますし、課題が見えなければ研修を求める意識は下がります。それ

でも私たちが、学ぶことの必要性を忘れず、研修を求め続けるのは、組織全体に重層的なラーニング・コミュニティが存在しているからです。私たちが不完全で変わり続ける存在であり、答えのない課題に向き合い続けるという覚悟がノンプログラムの支援を可能にし、その支援の現場の必要に応じて展開される多様な事業、それ毎に、そこに集う人々の学びの必要が生まれ、その人たちによって様々な学びの場が開かれ、そこで学び成長することによって、私たちの存在の意味への理解が深まるというサイクルをこの団体が持っていること、それは何物にも替えがたい宝です。

以前、水戸こどもの劇場という団体にかかわることで得たものは何かをスタッフ皆に聞いてまとめた大学生がいましたが、語られた多くが「自分自身の成長」と「居場所」でした。特に成長に関する発言は多く、学びの機会に数多く触れることが参加の満足度を上げているのだらうと思います。ご関心のある皆さま、こどもの劇場の研修会にどうぞご参加ください。

大人も成長できるんですよ〜



シリーズ「内向タイプという生き方」
～名前というもの～

公立高校教諭 森 俊博

とうとう定年を迎えた。定年後には悠々自適の生活も望んだが、まだやり残したこともあるし体力の続く限りは働きたいという思いもあってどうしようかと迷っていた。しかし、娘が大学に入ったばかりで卒業までにはまだ金がかかると知ったら、やはり再任用で働き続けるしかないし、どうせならフルタイムで働こうと覚悟が決まった。

それでも、働く場所は水戸市内の近場を望んでいたが、結局希望しなかった結構遠いところの話が来て、ごねるのは潔くないとそこで了承した。そして、執筆時現在2ヶ月が過ぎた。やっと慣れた。職場が変わるというのは、やはりかなりのストレスになる。最初の1ヶ月は異星人のような気分であった。

バスと電車で通うことにしたので、最初は電子改札システムを使えてうれしかったが、それも慣れたら出勤するためのモチベーションとしては力不足になった。今までより、通勤退勤に1時間ずつ多くかかるようになり、やはり老体にはこたえる。

そして、もう一つのストレスは、職員の名前も分からないし、生徒の名前も分からないということである。新しい職場に電話がかかってきて、〇〇先生を出して欲しいと言われてもどこにいるのかも分からないし、同僚が生徒の話をしていてもその生徒の顔も知らないから話にならない。このような、みんなと共有できないことが多いということによるストレスというものがいかに大きいか分かったことだけは収穫であった。

興味のない話なら聞こうとも思わないが、大切そうな話なのにそれに参加できないというのは、自分の存在価値を否定されているようで居心地のいいものではない。お邪魔虫、蚊帳の外とはこのような気持ちなのだと思った。

教室におけるいじめの一つである無視(シカト)というものの被害者の気持ちもこれに類するのかもしれないと思うと、その一端を味わった気分である。もちろん、こちらの職場でいじめられているわけではないし親切な人たちがばかりだし、要は慣れるまでの時間が必要なだけなのだが、それにしても新しい環境というものはかなりストレスフルである。

ところで、同僚の名前も生徒の名前も知らないし、名前と顔も一致しないという体験の中で、名前というものの偉大さを改めて思い知った。『影との戦い』(ゲド戦記シリーズ第一巻)で、自分の本当の名前は相手に知られるとコントロールされてしまう(魔法にかけられる)から、人に教えてはならないという魔法使いの師匠の言葉が思い出された。つまり、生徒の名前を覚えて彼や彼女の名前を言えるようになったら、彼らをコントロールできるようになるということでもあるし、名前を覚えられない限り相手の心の中には入れないということでもある。

まだまだ生徒全員の名前は覚え切れていないが、名前が言える生徒の顔はすぐに浮かんでくるし、廊下ですれ違った時に名前がすぐに出せると、その生徒の本質をつかんだ気になる。だから、人をコントロールするのがうまい人は、よく相手の名前をすぐ覚えるし、時に「ちゃん」付けまでする。すると、付けられた人間はメロメロになって相手の言うことを聞いてしまう。まさに魔法である。

それにしても、名前が付けられると、それはその他大勢から分離されて固有性を持つ。かけがえのない個体になるのだ。「分ける」ことは「分かること」であるという言い方もできる。AKB48のメンバーはまだ同じ顔にしか見えないが、生徒の顔と名前は早く覚え、早く魔法をかけてコントロールしたいものだ。

ところで、名前を覚えにくい理由は年のせいでもあるが、この名前はこのような顔という方程式が同じ環境にいるといつのまにかできてしまっているため、新しい環境においても今までに知った顔と名前とが邪魔して、頭の固い私は新しい方程式で認知することができにくくなっているようなのだ。

このような学習の方法を心理学では「スキーマ」というらしい。熟練者が、無駄な動きをせずに効率的に仕事をこなせるのは、このスキーマという学習法を身につけ、それを利用して仕事をしているからだそうだ。それに比べ、初心者や私のような新任者は、この職場におけるスキーマをまだ身につけていない、古いスキーマで理解しようとするからうまくいかないし、おかげで余計な力が入りすぎて無駄なことばかりして疲れるのだ。

このように、新しい環境というものは刺激的ではあるがストレスフルでもある。だから、あまり「できる人」ぶらないで、「教えて」を連発し、かわいらしく甘えるようにしたいとは思っている。

中立を教える

茨城大学大学院 金丸隆太

昔、アメリカ人の講師を招いてカウンセリングの研修を受けていたときの事です。講師のお召し物がゾウの柄だったのですが、ご本人が「私は共和党 (Republican) の支持者じゃないけど、このゾウの柄は気に入ってるの。」と話し、私を含む会場の日本人達はキョトンとなりました。通訳の方が、アメリカには民主党と共和党の二大保守政党があり、共和党のトレードマークがゾウであること、民主党はロバであることを解説してくれました。これを聞いて会場は、キョトンとは別の、ちょっと微妙な空気になりました。そして講師の先生は、会場の反応を不思議そうに眺めていました。

我が国では、カウンセリング等の専門技術の研修で講師が政治的なスタンスを話すことは稀です。一種のタブーと言っても良いでしょう。もちろんどの国でも政治の話は初対面同士や公の場で話すことはだいたいマナー違反で、アメリカでもそうです。しかし相手に尋ねるのは避けるとしても、自分が共和党と民主党のどちらを支持するかぐらいは、軽く話せます。逆にアメリカではタブーで、日本では気軽に話せる話題もあります。宗教、肌の色などがその代表です。昔「徹子の部屋」にある白人女優が来たときに、黒柳徹子さんは「本当に肌が真っ白で綺麗ね」と誉め(たつもりだったのでしょうか)ていましたが、その白人女優の方は本当に困った顔で黙っていました。しかし徹子さんが繰り返すので仕方なく、「My mother's gene. (母の遺伝です)」と努めて客観的に応えていました。日本には美白という言葉があるぐらい、色白は褒め言葉ですが、アメリカではテレビで肌の色の話をするなど、あり得ないことです。日本での話題に例えるなら・・・、いや、やめておきましょう。例えるのがはばかられるぐらいのことです。

さて、水戸こどもの劇場に関わっている皆さんは、子育てに様々な立場から興味をお持ちの方々でしょう。先日の参議院選挙では、18歳・19歳の選挙権が話題になりました。そしてそのことと併行して、学校で政治について中立的に教えることを国が求めだしたことが話題になりました。ホームページを通して、教育における政治的中立を逸脱した事例を投稿できるようにした党もあります。皆さんは子どもたちに、政治のことをどのように話していますか？子どもの年齢に応じて話題は色々でしょうが、中立的に話していますか？いや、そもそも中立とは何なのでしょう？

私は心理学者なので、研究に統計をよく使います。そこでは何百、何千というデータを扱うので、代表値

が重宝されます。例えば平均値、中央値、偏差値などです。国語・算数・理科・社会のテストの平均値が、80点、75点、62点、91点だったならば、ああ今回は理科が難しく社会が簡単だったんだとわかる、便利な指標です。しかしこの4教科のテストを受けた子が100人いたとして、全教科が平均値と一緒だった「平均的な子」というのは、まずいないのです。代表値ならば、全部平均点という子がいても良さそうですが、実際には全部できるか、全部できないという子の方が多いです。分布というのはそういうものです。

学校教育は何でも平均的な子を育てるためにあるのでしょうか。そうではないことは、現実が示しています。学校には様々な教育があり、子どもには様々な個性があります。たくさんのことを教わりながら、自分の得意分野に偏っていく。成長とはそういうものではないでしょうか。教わったことを全部できるようになるのではありません。教育はむしろ選択肢です。どの子どもの選択肢でも選べるように公平に教える。そこから子どもが主体的に選んで身につけていくことが、個性の教育です。特に政治のような、絶対的な正解が無い分野については、中立を気にしてまんべんなく教えようとすると、子どもからすれば全く興味を持ってない情報になり、教育効果は低いでしょう。「子どもに悪影響を与えないように、偏りなく教えなさい。」という考えは、子どもが自ら考え、選ぶ力を値引いています。子どもは本当に教わったとおりに育つのでしょうか？いやいやそんなことはないという皆さんの疲れた顔が目につきます。子どもの本質は「言うことを聞かない」ですすからね。

政治を子どもに教えるならば、中立を教えるのでは無く、様々な政治を教え、子どもに考えさせるのが効果が高いでしょう。それは全ての教育に共通することです。大人は子どもに答えを教えるのではなく、話題と方法を教えれば十分です。

大人から教わったとおりに子どもが行動するのなら、地球は今も石器時代です。言うことを聞かない子どもを見て、ゾウでもロバでもない新しいトレードマークの出現を夢想してみましょう。



「ココロ/アリカ」vol.13 難儀なカラダ

宮田 哲郎 (水戸南高等学校 定時制同窓会会長)

難儀なカラダだなあ、と言われた。確かになあ、と思った。それは仕事場でのこと。ちょっとした世間話の流れで、自分の病気について話をした時のやり取りだったかと記憶している。僕のカラダは何かとめんどくさい病気や個性を抱えており、日常生活の中で制約が多い。

糖尿病に始まり、眼球の網膜裂孔や、アトピー、水湿疹、喘息に花粉症と枚挙にいとまがない。しかも最近になって自閉症スペクトラムかもしれない(※前号参照)という疑いもかけられたわけで、人にこれらを説明しようとする、5分ではすまない。糖尿病では食事がある程度制限され、網膜裂孔によるレーザー手術をしているため、頭部に強い衝撃の加わる運動はできない。アトピー持ちなので、夏になればすぐに汗疹(あせも)で肌荒れがひどくなる。水湿疹が出来てしまうため、長時間水に触れていられない。ハウスダストで喘息の発作が出ることもあれば、春も秋も花粉症になる・・・などなど。まだまだあげようと思えば、手荒れがひどくてすぐにあちこちの指先がパッキリひび割れしちゃうとか、若気の至りで痛めつけたせいで関節があちこち痛いとか、何だかこうやって書くと、まるで一人総合病院のようでもあり、お歳を召した頃に迎える同窓会のようでもある(笑) いや、もう、これだけあるなら、さすがに病気自慢してもいいべ!なんて、そのためにこれを書いているわけじゃないんですけどね(笑) というわけで、僕はこういうめんどくさいカラダと長年連れ添ってきたわけですが、本人は全然大変だとか難儀だとかこれっぽっちも思っていなかったのです。『難儀なカラダだなあ』と言われて初めて、『ああ、人から見るとそうなんだあ』と、感じて、改めてこの話題を書こうと思ったわけです。

健康は何物にも変えがたいものです。もちろん、五体満足な方が良いに決まっています。何をしても身体が資本なわけですから、そりゃ健康な方が良いですよ。でも、なっちゃったもんはしょうがないんですよね。僕だって、こういうカラダになりたくてなったわけじゃないし、『治してほしい!』と思ってもすぐに治るわけじゃないし。病院に行こうと思えばいくらでも行く理由がありすぎて、治すために病院に行くのは、もうぶっちゃけめんどくさいんです正直なところ(笑)

というわけで、人間には人それぞれではありますが、とって便利な『発想の転換』という技術が備わっておりまして。僕はそれを最大限に生かして、自分に都合の良いように考えては、めんどくさいこのカラダと付き合っていくことにして、今に至ります(笑)

以前もこのコラムで書かせていただきましたが、糖尿病になったことがきっかけで、僕の人生は大きく改善しました。それまでは、いじめなどが理由で不登校を経験し、その後糖尿病にもなり、未来への絶望と現実の辛さに耐え兼ね、自殺を図ったこともありました。

しかし、辛さ、苦しさがあるからこそ、感じることができる楽しさや幸せがあることに気付くことができ、そこから人生は変わりました。そしてそれは、僕が抱える他の病気でも言えることです。いろんな制約があるからこそ、それに対応するための『知恵』を身につけることができるようになりました。

また、様々な点に気を付けなければいけないため『先を読み』『注意する』というリスク管理の技術も高まりました。そして何より『今』という瞬間がいかに大切なものか、という気持ちが強くなりました。元々僕の網膜は、人よりも薄く破れやすくなっており、現在では一部に穴が開いています。これを網膜裂孔と呼び、レーザー手術で焼き付けることで、網膜剥離を防いでいます。

つまり、いつでも失明に至る危険をはらむ眼球だということです。そんな僕にとって、いま目に見えるこの世界の景色は、とても貴重で大切なものです。だって、いつ見えなくなるかわからないんですもん。そんなわけで、『今』の大切さを意識するきっかけとなりました。

なっちゃったもんはしょうがない。だからこそ、そんな中でも何かプラスになることがないか。僕はいつもそれを探し、意識しています。その方が、一回きりの人生を楽しく生きていけそうだなあ、なんて思うので。もったいないもん、暗い顔して生きていくの。どうせこの世界は楽しいことや幸せなことが3割あればいい方。7割ぐらいは苦しいことや辛いことしかない!と、僕は勝手にそう思っています(笑) だったら、少しでも楽しいことや幸せなことが増えた方が良いでしょう。病気になったこと自体はマイナスかもしれないけど、だからこそ健康な人には見えないものが見えることもあります。光あるところに影があるように、苦楽はいつも表裏一体なのですから♪



こんなことを言っていますが、病院は単純に嫌いです! 採血とか直視できないし(笑) 幼い頃、予防接種で号泣してたそうですが、泣かなくなっただけで今も変わりません(笑) 泣いてもいいですか?(笑)

大好きいばらき地域誕生応援
事業助成金事業！！

「みんな大切なのち」赤ちゃんとお母さんの出前授業 ～赤ちゃんが学校にやってくる！～

認定 NPO 法人水戸こどもの劇場では、赤ちゃんとお母さんの出前授業（お母さんとのトークタイム、赤ちゃんとの触れ合いタイム）、講師による講話（誕生学、性教育）を児童・生徒の皆さんに提供させていただきます。平成28年度は助成金を活用して実施できます。学校等で命の大切さを子どもたちと一緒に考える機会に、ぜひご活用ください。

<プログラム内容>

～ふれあい体験編～

1. お母さんとのトークタイム
2. 赤ちゃんとの触れ合いタイム
1と2のセットで1クラス5000円
(1と2のどちらかでも可能です)
※今年度に限り助成金が活用できます



～講話編～

3. 誕生学プログラム「いのちってスゴイ！」
4. 性教育プログラム(Body Science いばらき)
※3か4のご希望のものをいずれかを選択ください。
講話 1回5000円
※今年度に限り助成金が活用できます

1. お母さんとのトークタイム
ゲストのお母さんが、出産や子育ての体験をお話します。母子手帳やアルバムおもちなど、お母さんのアイデアで何が出てくるかはお楽しみ。
2. 赤ちゃんとの触れ合いタイム
お母さんに教わりながら赤ちゃんに触れたり抱っこしたりします。赤ちゃんの温もりや重みを感じられる時間です。



3. 誕生学プログラム「いのちってスゴイ！」
公益社団法人誕生学協会認定の講師が、いのちの始まりがお母さんのおなかの中で成長し、色々な工夫をして誕生した生命力を学び、自尊感情を育む機会にします。
4. 性教育プログラム(Body Science いばらき)
「性はいのち、そして人権」という合言葉のもとに、年齢に合わせた正しい知識を子どもたちに提供します。ワークショップ形式(参加型)で、一人ひとりの子どもに必要な知識とスキルを手渡していきます。(詳細はリーフレットをご参照ください)



- ◎ふれあい体験編と講話編をセットで実施いただくと、体験と正しい知識とが体系的に学ぶことができ、子どもたちの心に大切な力が刻まれると思われます。セットでの実施をお勧めします。
- ◎ふれあい体験のみのご依頼も大歓迎です。

6月に高校で実施し、感想をいただきました！

高校2年生の感想です！

母が産み自分がそうやって生まれてきたのかと思うと、なぜか心にくるものがあった。ビデオの出産シーンでは、不覚にも感極まってしまった。本当にためになった。(男子)

命の尊さについて良く学べたと思います。僕たちの体は大人ですが心がまだ子どものままであって、とても複雑な時期だということを確認しました。人を愛することが如何に素晴らしいか全ての人にわかってほしいと心から思いました。赤ちゃんに触れ合っるととても可愛いと思いました。これも一種の愛だと思いました。これからしっかりと人を愛し愛される人間になりたいです。(男子)

お産の動画にとっても感動しました。お母さんが泣いていて、最初はお父さんもそれを支えていたけど、子どもが見えてきてお父さんも泣き出してしまってびっくりしました。私も子どもを産むとき、泣いてくれるようなだんなさんがいいなあと思いました。(女子)

話を聞いてとても感動した。どのお母さんも子どもの成長がとても嬉しいと言っていた。お父さんとお母さんに愛を受けて育った赤ちゃんはとても幸せだろう。(男子)

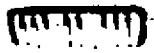
人が誕生するところから生まれてくるまでの過程、そして人間とは何かを改めて気づかせてくれた。素晴らしい講話だった。実際に赤ちゃんに触れ合うことでいのちの尊さを改めて感じる事ができた。自分も人の為役に立つ人間になりたい。(男子)

今日の学習であらためて自分たちは両親に支えられてきただけでなく、まわりのたくさんの人にも支えられてきたんだと感じた。(女子)



Greco サロンのページ

今回はグレコサロンでよく話題に上がる、「進級、進学のポイント」について先輩達の過去の経験談を踏まえてアドバイス等をまとめてみました。(悩むところではありますが、気持ちにゆとりを・・・) ご参考までに・・・



!! タイミング !!

《入園》《進級》《入学》《進学》

<幼稚園、保育所、通所型児童デイサービス>

「まわりの子と比べて発達に不安がある。」「検診などで癖の指摘や、発語の遅延が発見された。」など・・・初めての育児なら特に「発達に課題、不安がある」事に家族は戸惑いを感じてしまう時期かもしれません。

しかしながら、戸惑っていても育児、生活は同時進行です。まず、不安な事があれば専門的な相談先を探してみましょう。発達に不安がある事に対処できる病院や機関を探したり・・・早目の対処で自分の子に合ったサービスを受けられたり、県内で数少ない児童通所施設の見学や、体験、入園予約など、色々な情報が得られます。

お子さんは必ず成長し適材適所で進級するでしょう。少し動くことで相談機関、協力者も出てきます。家庭での関わり方に不安がある場合は、保護者ミーティング、ペアレントトレーニングなどを行っている機関もあります。家事など出来る事を分担し、出来ない事はサービスがないか探してみましょう。(例えば兄弟の育児もあり動くことが困難な場合は、一時保育などを利用するなど)

<特別支援学級、通級指導教室、特別支援学校 など…>

発達に課題があるお子さんは、年長さんあたりから市町村の「教育委員会」の担当者の方と「進学相談」

「IQなど個人の発達の手がかりとなるテスト」をしていきます。

《教育委員会》 一人一人の教育的ニーズや発達段階等を考慮して適切な教育が行われています。就学にあたっての相談の窓口は、お住まいの市町村教育委員会です。市町村教育委員会は、保護者及び教育、医学、心理学その他専門的知識のある方の意見を聴き、それを踏まえて適切な就学先を決定します。

・・・とあります。そこまでのお子さんの様子や経緯、就園状況なども聞かれますので年長さんまでに「サポートノート」などをつけておくとういでしょう。(市町村によっては市が発行しています) 就学となると「生活」以外に「学習」が入って来ます。色々な可能性を相談し焦点を絞り、見学をしてから進学先を決定しているようです。

以下・・・先輩&家族の就学のポイントを載せておきます。

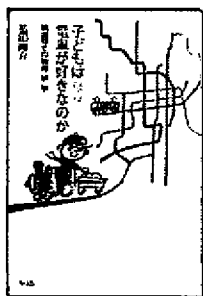
※(就学についてはその子に見合った就学先を選んだものです。)

- ⊗ 就学相談が始まってから何校か、地域の学校を見学しました。本人と何度か足を運び、本人の希望も取り入れました。少なからず初めは妥協はありましたが今はそこをカバーする位、本人が楽しんで行ってくれています。
- ⊗ 就学相談、及び先に在籍していた兄弟の学校の先生にも相談に乗って貰い、支援学級を何度か見学させて貰いました。先生は赴任されることもあるとアドバイスを貰っていましたが、学校側の支援体制が整っているのがわかったのは何度も見学に行ったからです。一度二度ではわからないことは沢山あります。気になる学校はどんどんアクセスしてください。
- ⊗ 経験を大事にして行こうと数年間、地元の小学校に通学し、途中から進学先を変えました。最終的には学校と相談しながら、転校先に足を運び、本人が安心する環境づくりをしました。転校は決して悪いことだけではなく、地域に友達もできましたし、そこがあって今があると思えるところです。
- ⊗ IQテストでの判断では希望の学校の選択肢が得られませんでした。「視覚から入るタイプ」なので、希望校のある「支援ツール」を活用した支援が欲しかったこと、言葉や態度だけの判断では不安があり、教育以外のサポートが充実している事、何度も掛け合い進路先の配慮を熱望しました。当時はなかなか説明がつかずIQテストだけでは得られない部分の説明に保護者としては悩みましたがそれでも、希望校を貫き、入学後の本人に不安や乱れがなくスムーズに学校生活に移行できたので、安定した支援を頂いていると実感しています。
- ⊗ 本人の希望と通学方法から入学先を決めました。今本人が出来る事出来ない事を知れるチャンスです。今行ける学校の生活が充実した「楽しい」毎日になるよう支援すると共に、地域の方々とのおふれあい、福祉サービスからのサポート、医療との連携を図っています。「諦めない支援」「合理的配慮」など今まで支援して下さった方々や先輩たちの足跡が、今の地域の福祉サービスに繋がっているのを実感しております。母子ともに勉強させていただいています。

(コメント、アドバイスなどにご協力いただき、誠にありがとうございました。)

BOOK: 「子どもはなぜ電車が好きなのか 鉄道好きの教育〈鉄〉学」

著者名：弘田陽介 出版社：冬弓舎



子どもと電車の関わりや鉄道文化を紹介する本です。

子どもが電車を好きになるきっかけ、電車好きが多い年齢、電車の魅力などを扱っています。

「この書は私なりの「子育ての記」なのだろう。」と後書きに書かれているように、著者自身の体験を混ぜながら書かれています。その為なのか難しい話はせずに、読み物として気楽に楽しめる内容です。終わりの方の資料編では、各国の鉄道文化や電車の絵本などの紹介をしています。

ところで、寿司屋の魚べいに行った時の事、新幹線やレーシングカーのデザインの小さい台がレーンを通りお寿司を運んできました。電車のデザインの物や、鉄道文化を目にすることが日常的にあると思います。そういう時に、この本に書かれている事を思い出して欲しいと思います。



BOOK: 「中学生からの作文技術」

著者名：本多勝一 出版社：朝日新聞社

子どもでも大人でも文章を書く事が日常的にあります。メール、ブログ、ツイッター、書評、会社での議事録や仕様書等。

もう少しましな文章を書きたいと思ったときに、この本を読みました。

特に印象的だったのが「無神経な文章」という章です。手垢のついた紋切り型の表現はするな、笑い話を書くときは大真面目な文体で正確に書け、文自体が笑っていたら読み手は面白くなる、等の内容です。正解のない話ですから、この本の通り練習すればそれで良いという事ではないでしょう。しかし、参考にするとよい本だと思います。

(佐藤 元基)

真家先生のカイロコーナー

夏に向けてわき腹を鍛えたいと思います

椅子に座って、椅子の後方をつかんで体を安定させます

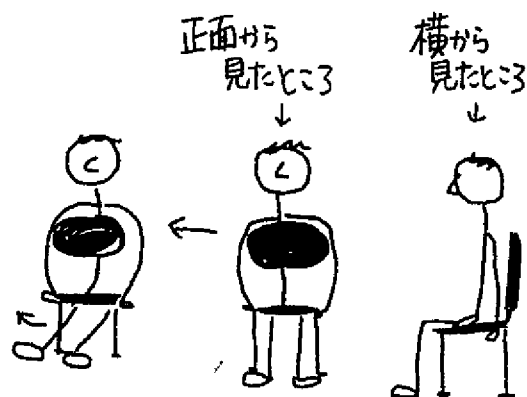
両足をそろえて足先を浮かせ、その姿勢でヒザを中心に

左に足をゆっくりと動かします

反対側にもゆっくりと動かします。ヒザの位置ができる

だけ変わらないようにするのがポイントです

簡単なようで結構キツイですよ



毎月の活動 (その他 文化創造体験活動、自主活動なども開催しています)

*内容は変更になる場合もあります、お問い合わせ下さい。

<p>おもちゃサロン「エルマークラフ」 対象：幼児の親子 毎週月・火曜日 11時～14時 8月お休み 水戸こどもの劇場事務所で、おもちゃやお友達と遊んだり、親同士の交流やランチも可能。本やおもちゃも借りられます。 参加費：会員無料、会員外1回300円 *見学できます。</p>	<p>カブラであそぼう 対象：幼稚園児の親子 毎週水曜日 14時～16時 8月お休み 水戸こどもの劇場事務所で、カブラで遊べます！ 参加費：会員無料、会員外1回300円</p>
<p>フェアリーキッス ～0歳児あつまれ～ 対象：0才児親子 毎週水曜日 11時～14時 8月お休み 水戸こどもの劇場事務所での0歳児の親子のためのサロンです。親子の交流の場になっています。 参加費：会員無料、会員外1回300円 *見学できます。</p>	<p>みとびよ音楽隊♪ ファミリープラスバンド 毎月5回程度 9時半～12時(対象：大人 子連れOK)楽器の演奏を楽しんでいます。依頼演奏もいたします！ 参加費：要活動会員登録(初回1000円・毎回200円) *練習場所等についてはお問い合わせください。</p>
<p>ガレッジセール&コミュニティカフェ 月1回(金曜日)10時半～15時 8月お休み 水戸こどもの劇場事務所にて開催。 子どもを遊ばせながら子ども服や雑貨日用品などをゆっくりご覧下さい。日程についてはお問い合わせ下さい。</p>	<p>ガフの会 毎月読み聞かせ会をしています。 東部図書館 第1・5土曜日 14時～14時半 見和図書館 第3土曜日 14時～14時半 *その他内原イオン内 未来屋書店前でも開催しています。参加費：無料</p>
<p>幼児サークル「ハローイングリッシュ♪」 毎月第2火曜日 10時～12時 対象：2～3才の親子 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) 音楽にあわせてリズム遊びを親子で楽しみます。 参加費：チケット制(会員：2500円・一般：3000円6回分)</p>	<p>ウクレレサークル♪「ピコ」 対象：大人 毎月1回程度 10時半～14時(子連れOK) ゆる～くウクレレを楽しむ会です！ 参加費：会員無料、会員外1回300円 *見学できます、気軽にお問い合わせください。</p>
<p>幼児サークル「親子たいそう」対象：0～3才の親子 毎月4回各金曜日時々木曜 10時～12時 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) 第1金曜他：0才、第2・4金曜：2～3才、第3金他：1才 ボールや輪を使ったたいそう遊びです。 参加費：チケット制(会員：2500円・一般：3000円6回分)</p>	<p>手芸サークル 対象：大人 好きなものを持ってきて自由にチクチクしましょう 月1回 不定期 事務所 参加費：会員無料 一般：300円 *参加希望の方はお問い合わせください。</p>
<p>室内ゲームの会「On the table」 対象：小1～大人 毎月1回、日曜日(不定期) 10時～15時 水戸こどもの劇場事務所で、カードゲームやボードゲームでたのしく遊びます。参加費：無料</p>	<p>グレコサロン 対象：発達障がい児童を育てる親、先輩 毎月第3火曜日 10時～12時 事務所 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F) 参加費会員：50円 非会員100円 気軽に参加して下さい。</p>
<p>ぽかぽかつどいの広場 (水戸市受託事業) 毎週火・水・木・金・土10時～16時(日・月・祝日閉館) 水戸市福祉ボランティア会館(ミオス2F)未就学児の親子を対象に交流の場を提供しています。毎月講座開催中！参加費：無料 (毎週金曜日10時～12時 保育士による育児相談日)</p>	<p>ほっと！HOT！スクウェア 毎週土曜日15時～16時・毎週火曜日(再15時～16時) ファミリー情報番組。 スタッフはみんなお父さんお母さん、生活の中で気づいた疑問、得た情報を放送中です！ FMはるるん 76.2MHz 放送中！</p>

♪ お知らせ ♪

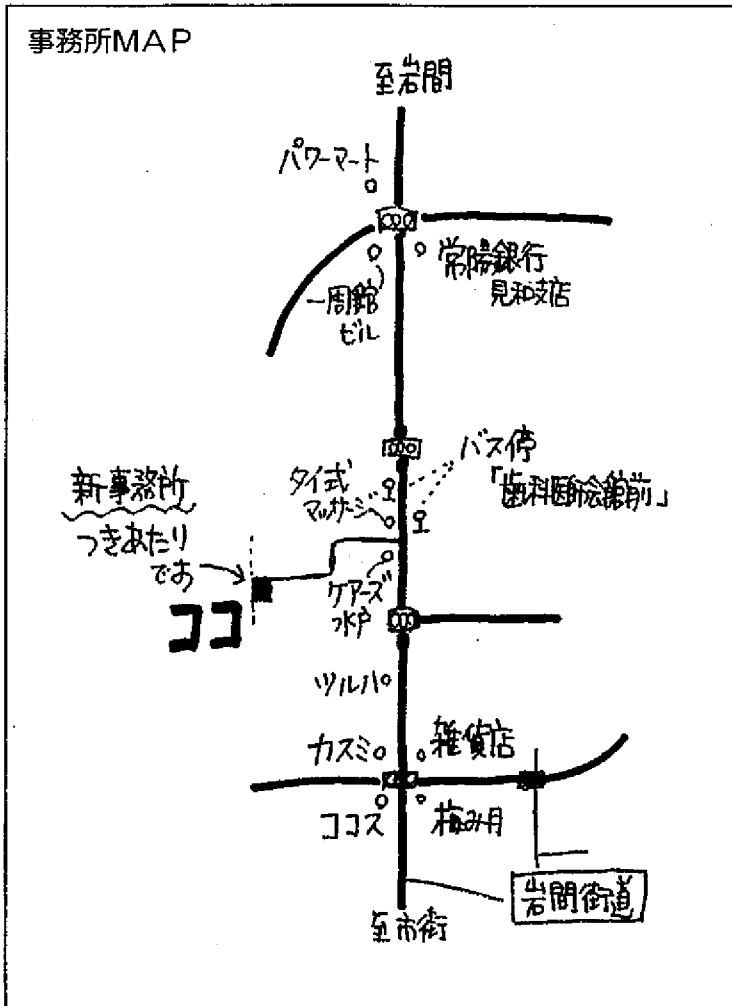
第9回 みとびよ音楽隊ファミリーコンサート開催！

2016.8/27(土)茨城県総合福祉会館

幼児から大人まで楽しめるコンサートです。ぜひおいで下さい！ 無料



事務所MAP



会員募集中!

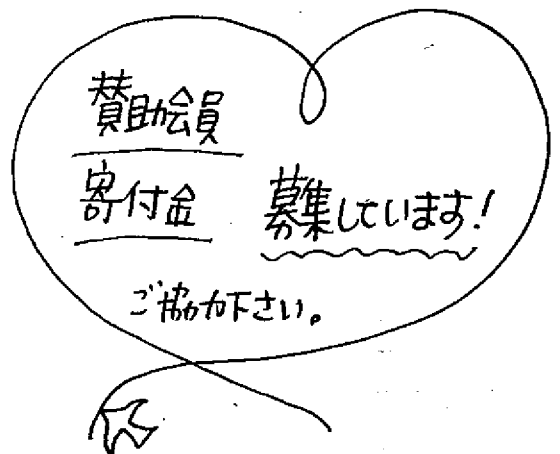
入会は、子どもから大人まで、

個人正会員	入会金	500円
	年会費	12,000円
団体正会員	入会金	1,000円
	年会費	20,000円
活動会員	年会費	3,000円
登録会員	(登録時のみ)	500円

(登録会員は3歳以上、中学生以下です)

賛助会員 一口 5,000円～

*寄付は随時募集しています。



<賛助会員の皆さん> いつもありがとうございます

石川クリニック様、河和田幼稚園様、そば吉様、東栄観光開発(株)様、乳がん仲間の小さなおしゃべり会 momo様、水戸吉沢小児科クリニック様、株式会社ハース様、サンライフ・サンフーズ様、阿部牧子様、岩間政志様、内桶純子様、河原井忠男様、佐藤光雄様、杉野美子様、谷口佳津枝様、根本弘太郎様、野村眞実様、野村玲子様、益子康雄様、柳橋剛様、伊藤円彩・健様、井上千聡様、軍司忠之様、田中光彦様、中根昭次様、中根一昭様、野口祥子様、袴塚雅彦様、真家彰様、前河咲子様、森田直幹様、森田大輔様、加藤智明様、井上多加志様、井上瑞穂様、森の音楽会様、小林裕子様、岩田みなみ様、(株)東和様、久下沼洋子様、砂川光造様、根本麻貴子様、田上佐知子様、出澤貴子様、田山千秋様、飯田正美様、鈴木真紀様 (順不同・6月末現在)

* 広告は随時募集中です

体にやさしい西洋料理
Restaurant Aoyama
 元大使館料理人が作る、体にやさしい西洋料理店。
 地元の食材を使い、丁寧に作りあげた一品一品が体にやさしく楽しめます。

Lunch & Tea・11:00～16:00 (LO14:30)
 人気No.1★ 30品目ランチプレートセット 1500円/キッズランチプレート 800円など

Dinner & Tea・17:00～22:00 (LO21:00)
 お得な多品目ディナーコース! 3200円～ Dinnerセット 2000円
 アラカルトメニュー おつまみプレート 1000円 / パスタ 950円 / グラスワイン 460円など

バターや油を多用しないお料理だから、お子様のご年配の方にも安心です!

JR赤塚駅南口前ヨークタウン内 グインズ棟 28日木曜日 ☎029-257-9292

茨城県産の商品がたくさん!

- 6次産業 (生産・加工・販売) と地域を応援! 茨城県を楽しめるお店 -

==メニュー・商品 (一部) ==

- 葉特製日替わりランチ 500円～
- ソフトクリーム 300円 (バニラ)

新鮮な野菜毎日販売中です! (約50種類)・日本農業実践学園産・鯉洲学園農業栄養専門学校産・水戸市のお野菜が盛りだくさん! 那珂パイヤドレッシング他 (那珂)・たがね餅、甘酒の素 など

毎月第3金曜日健康チェック開催中です!

食と農のギャラリー 茨 月・火・水・木・金 10:30～17:30
 水戸市南町3-3-40/TEL・FAX 029-231-8331

「安心・丁寧」プロにおまかせ!

きれいに住まいる

キッチン・エアコン・浴室・ガラス他、店舗・オフィスのクリーニングもお任せ下さい!

ご相談、お見積もりは無料です。いつでもお気軽にお電話ください。

☎ 029-255-0126

おそうじ本舗 水戸河和田店

中古車購入 衝撃のシステム

○毎週10万台以上のオークション出品車両から、お気に入りのクルマをお選びいただけます。
○オークション出品車両を直接買い付け、お客様にお届けしますので、中間マージンの大幅カットによりとにかく安い!
○出品票・評価点オープンで厳格な品質チェックにより、安心してクルマをお選びいただけます。
○1年間無料ロードサービス付き

お気軽に遊びに来てください。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

お問い合わせはフリーダイヤル 0120-977-380
中古車情報館 スーパーオークション水戸河和田店
水戸市河和田町3035-14
営業時間 10:00~20:00 定休日 月曜

吉田石油 50号バイパス・岩間街道交差点内

小堀巖美容室

COUTURE

小堀巖美容室クチュール
ヘアメニュー
○新規割引 カット1,000円 off
パーマカラー2,000円 off
○学生割引 20% off

住所 水戸市五軒町1-2-5いすゞビルMF
芸術館通り交差点角の全面ガラスの店

電話 029-221-3071
ホームページ <http://www.kbriwao.co.jp>

成人式振袖写真バック 58,800円から
エステ・育毛メニューもあります

安心と信頼の真心サービス

ソフトQ²車

(そふと・きゅうぎゅう・しゃ)

国土交通省免許「関自旅二第1054号」/水戸市消防本部認定「第3号」

こんな時に「ソフトQ²車」がお役に立ちます

- ・退院、通院、転院、一時帰宅される時。
- ・リハビリ・温泉治療などに出かけられる時。
- ・空港や駅から自宅などへ寝たまま移動が必要なとき。
- ・足の不自由な方が車イスで冠婚葬祭にご参列される時。

緊急性の少ない人を有料で搬送するサービスです!

完全予約・受付時間9:00~18:00年中無休

<http://softq2.sakura.ne.jp/>

TEL 029-224-5992

カイロフラクティックで健康UP!

~ご予約お待ちしております~

石岡市 南台カイロフラクティック 真家智子

電話: 0299-27-1028 携帯: 090-6134-5835
メール: maie.tomoko@ezweb.ne.jp

水戸でも施術してます(水戸市河和田)

●施術料: 5,000円
(初回7000円はこの広告で2000円割引です)

*カイロは、体のゆがみを治して、本来持っている自然治癒力を高める療法です。肩・腰・膝などの痛み・しびれや姿勢が改善して、体が楽になったと喜ばれています。

~障がい児の笑顔あふれる毎日を!~

<発達支援教室>

●放課後デイサービス●児童発達支援事業

一般社団法人「クオリティ・オブ・ライフ」では、障がい児を対象にダンスや音楽療法を中心とした集団活動を行っています。

- ・那珂支援教室 (那珂市飯田)
- ・水戸支援教室 (水戸市中丸町)

TEL 029-291-6603

発達支援教室
Quality Of Life
クオリティ・オブ・ライフ

<編集後記>

(ひ) 小学校の子ども会のソフトボールの練習で、子どもたちがどんどん日に焼けていきます。夏のみんなの成長が楽しみです♪

(い) 息子『お母さんタツマキ注意報出てるよ。』帰宅後の主人に『お父さん、タネマキ注意報出てるよ。』一字の違いが幸せを呼ぶんですね。

(は) 最近いろいろ昔のものが再流行しているようですね。例えば、レコードだったり、ファッションだったり・・・今は文章もほとんどPCを使っていますが、私はやっぱり手書き、手作りなどにもこだわっていきたいです~♪